



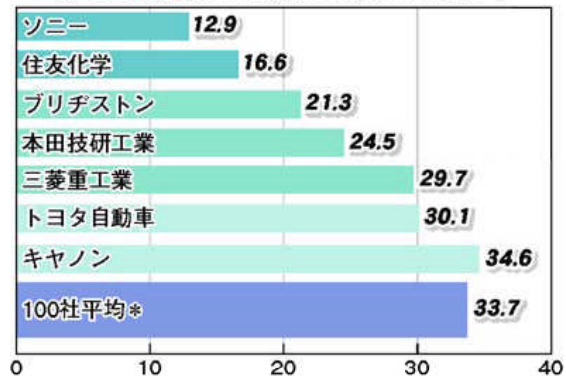
ゴーン社長は8億9千万円だって？

今年から、上場企業の役員で年1億円以上の報酬を受け取っている役員とその報酬額の公表が義務づけられました。日産のゴーン社長は何と8億9千万円、ソニーのハワード・ストリンガー会長に4億1千万円の報酬が支払われたとそうです。

6月24日の東京新聞によると、ゴーン氏の報酬は、日産の2009年3月期2300億の赤字業績に連動したもので、景気が悪いからと賃金を抑え、下請代金を叩いた「功績」としての報酬？閉鎖された日産村山工場で働いていて仕事を失った人々はどう思っているのでしょうか？

さて、ソニーはどうでしょうか？おりしも経団連は「日本の法人実効税率40%が高すぎる」として引き下げを要求しています。右のグラフは24日の「しんぶん赤旗」日刊紙に掲載されていたものを切り貼りしたものです。それは過去7年の税引き前利益と、法人税、法人住民税、法人事業税の三税を対比してあります。実は、優遇税制により大企業の実際の税金の負担はき

おもな大企業の実際の法人税負担率



わめて少ないのです。

経団連の要求に従って、法人税率を下げれば更に儲けが増える。大企業トップの「ウフフフ・・・」が聞こえそう。

膨大な儲けが上がったのは、労働者が働き、商品を国民が買ったから。膨大な儲けは労働者や下請け企業に、又、税としてもっと国民に還元して貰いたいと思いますが、皆さんはどう思われますか？



沖縄の赤い瓦 (沖縄・奥武島にて)

日本美術会の写生会で、沖縄南東部の「奥武(おうむ)島」に行きました。その路地を歩いていて、クリーム色の漆喰で固めた赤い屋根、そして遠景の平和祈念公園に魅せられて描きました。この島は沖縄本島とは橋で繋がっています。沖縄ではスコールのような短時間の雨がよくあるので、右の家のように屋根付きの屋上で洗濯物を干すそうです。